

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

＜県央会場＞

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 何を目的として関係各機関と連携を進めていくのか、職員が理解しながら運営を行うことが大切だと学んだ。自分の施設の地区では市町村のどの課が担当するのか、しっかりと把握してから、できることを考えていく必要がある。地域コーディネーター等の関係機関をつなぐ役割の存在や、それを踏まえて児童クラブにはどのような働きが可能かを考えたい。子どもに対し、大人の職員である自分たちの及ぼす影響に配慮して実践していく。
- ◆ 子どもの健全育成のため、保護者、学校、保育園、幼稚園、地域それぞれが連携することの大切さを学びました。また、児童虐待の増加、問題行動対応など学校が抱える課題は複雑化、困難化しているため、社会総がかりで子どもの育ちを支えていかなければいけないことを知りました。私が勤務する児童クラブは学校と定期的に情報交換をしています。これからは様々な機関と連携を深めていきたいと思いました。
- ◆ 今回の研修を通じて、学校と地域の連携の重要性を改めて実感しました。これからは、子どもたちの健全な成長を支えるために、地域の方々や保護者、教育関係者と積極的に情報交換を行い、お互いの理解を深めることを心掛けたいです。また、コミュニケーションの取り組みを参考に、地域の特性にあった連携方法を模索し、子どもたちが安心して学び、成長できる環境作りに貢献していきたいと思います。
- ◆ 児童クラブだけでなく、その児童を囲むすべての学校、保育所、幼稚園、地域等との連携が必要で、子どもや保護者の安全や安心につながっていく重要性に気付かされた。子どもの育ちを支えていく役割の責任の重さを改めて実感する機会となった。連携を図ったなら、それだけで終わるのではなく、その子どもがどう変わったかまで話ができる体制が持てるよう連携をしていきたい。
- ◆ 学校との連携では、地域と学校をつなぐ役割を担う地域学校協働活動推進員がいることを知りました。保育所、幼稚園等との連携では、必要な情報と秘密情報をどこまで伝達するのかの見極めが必要であること、地域や関係機関等との連携では、保護者との連絡先を日常的に確認することなど、連携の際に考慮するポイントを学びました。子どもを取り巻く環境との連携を深めながら、子どもたちを見守っていきたいと思います。